



松江 3 クラブ新年合同例会

松江 LC (第 1671 回) 松江湖城 LC (第 1477 回) 松江葵 LC (第 930 回)

＜令和 8 年 1 月 9 日 (金) 18:00～ ホテル一畑 2F 平安の間＞

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 開会ゴング 及び 開会宣言 | 松江 LC 会長 L. 原 章博 |
| 2. 国 旗 に 礼 | |
| 3. 国歌 及び ライオンズクラブの歌 斉唱 | |
| 4. 清 祓 | 阿羅波比神社宮司 立脇 通也 様 |
| 5. ホストクラブ会長挨拶 | 松江 LC 会長 L. 原 章博 |
| 6. 幹 事 報 告 | 松江 LC 幹事 L. 岸本 義之 |

1) 2026 全国アラートフォーラム in 大阪について

日時/令和 8 年 3 月 13 日 (金) マッチング分科会 10:00～12:00

フォーラム 13:30～17:00 交流会 18:00～20:00

場所/コングレスクエア大阪中之島・リーガロイヤルホテル大阪

登録料/マッチング分科会 2,000 円・フォーラム 2,000 円・交流会 10,000 円

2) 第 108 回ライオンズクラブ国際大会 (香港) について

日時/令和 8 年 7 月 3 日 (金) ～7 日 (火)

登録料・締切/190US\$ (1/30 必着) 265US\$ (6/30 必着) 340US\$ (7/1 以降)

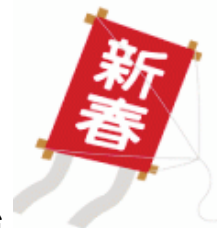
- | | |
|------------------|------------------|
| 7. 閉会宣言 及び 閉会ゴング | 松江 LC 会長 L. 原 章博 |
|------------------|------------------|



新 年 賀 会

司会: ホストクラブ松江 LC

計画委員長 L. 経種 順治



- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 清 興 | 石見神楽八調子の源流 日脚神代神楽社中 |
| 2. 鏡開き | |
| 3. 乾 杯 | 松江葵 LC 会長 L. 松岡 靖 |
| 4. 懇親会 | |
| 5. また会う日まで | |
| 6. ライオンズローア | 松江湖城 LC 会長 L. 石倉 哲 |

歳 男 ・ 歳 女

	松江 LC	松江湖城 LC	松江葵 LC
1942 年 (S 17)		L. 林 隆行 L. 森山 浩吉	L. 内藤 進 L. 福島 則光
1954 年 (S 29)		L. 山本 武嗣 L. 柳原 治	L. 矢野 敏明 L. 澤 真吾
1966 年 (S 41)	L. 吉川 浩 L. 下本 晃		L. 須山 勲
1978 年 (S 53)	L. 大谷 悠 L. 別組 一樹	L. 藤原 淳司 L. 森山 道弘	
1990 年 (H 2)	L. 金津 大地		

清興 石見神楽八調子の源流 日脚神代神楽のご紹介

《石見神楽八調子の源流》

日脚神代神楽社中(ひなしじんだいかぐらしゃちゅう)

発足は 江戸時代の寛政元年以前(1789 年以前)と伝わる、伝統の長い神楽社中

「八調子」と呼ばれる 石見神楽の源流的な奏楽形式で、古い様式・演目を大切にして、神事としての奉納を最優先 にすえて活動している。

浜田市日脚(ひなし)町内の日脚(ひなし)八幡宮(日脚神社)に残る書物に江戸時代中期の寛政年間に神楽を奉納した記録がある。古くから伝わる「神職神楽」を受け継ぐ。

社中は江戸時代以前から活動が確認されている歴史ある神楽団体で、石見神楽の八調子など独自の演目・所作を保持し、神社の祭りの奉納芸能としての日脚(ひなし)神社との結びつきを深めている。

日脚(ひなし)神代神楽社中は、その神社を中心に神楽を奉納・継承する歴史ある神楽団体。

社中の演目・活動は神社の祭礼(例祭など)と密接に結びつく、地域の伝統文の継承氏神である日脚八幡宮(日脚天上岡八幡宮)での奉納神楽 が中心で、春祭りや例大祭など神社の祭典で、神事として演目が舞われ、神話・伝承を物語る演目が複数連続で構成される ことが多い

日脚神代神楽社中は、八調子(はっちょうし)の古式神楽を色濃く残す社中。

八調子とは、石見神楽の中でも 最も古い囃子(はやし)と舞の様式 で、「神を迎え、神に捧げるための“間”を重視した調子」。神事色が非常に強いのが最大の特徴です。

「神楽は本来、神様を楽しませるもの」という考えを大切にしてきた。

演目【恵比須】

〰 国を始めて 急ぐには 四方こそ 静かに 釣すなり
我はこれ 大国主の命の御子と 生まれ出で
青人草 (この世の人々) を加護せんと この浦に 止まったり
げにげに 聞けば 有難や
青人草を 恵みます 神の心の尊さよ 〰



日脚神代神楽
YouTube チャンネル

石見神楽における「恵比須(えびす)」は、日脚神代神楽社中でも大切にされている演目です。

神事性と娯楽性をあわせ持つ点が最大の魅力。

日脚神代神楽社中の「恵比須」は、石見神楽の中でも「古風で神事性の高い恵比須」として位置づけられている。日本の神話では大国主命の子として描かれている(由来は事代主神(コトシロヌシ))

恵比須様は七福神の中でも唯一の日本古来の福の神(その他はインドまたは中国由来)純日本神で、柔和で親しみやすい表情の面が使われます。神様でありながら人間味あふれる存在。

昔から「恵比須が舞われると良いことがある」と昔から言われています。

次回例会のご案内(松江3クラブ)

松江LC 1/23(金) 12:15~ ホテル一畑

松江湖城LC 1/20(火) 12:30~ ホテル一畑 松江葵LC 1/22(木) 12:15~ すいてんかく